２０１８年度 修士課程入学試験（春期）

試験問題〔専門〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

問題Ａ－１～Ｅ－８の中から志望研究指導の問題について解答しなさい。

志望研究指導以外の問題を選択した場合や２問以上解答した場合は採点されません。

問題記号	研究領域	ページ
A－１～８	スポーツ文化研究領域	Ｐ．１
B－１～９	スポーツビジネス研究領域	Ｐ．２～３
C－１～１２	スポーツ医科学研究領域	Ｐ．４～６
D－１～８	身体運動科学研究領域	Ｐ．７～９
E－１～８	コーチング科学研究領域	Ｐ．１０～１１

A．スポーツ文化研究領域

A－1　研究指導名：武道論（志々田　文明）

武術、武道、スポーツの三者について比較的に説明しなさい。

A－2　研究指導名：スポーツ倫理学・教育学（友添　秀則）

体育とスポーツの違いについて考えるところを述べなさい。

A－3　研究指導名：スポーツメディア論（リー　トンプソン）

メディア研究には制作、テクスト、オーディエンスの３つの領域がある。その内の一つを選び、スポーツとの関連で論じなさい。

A－4　研究指導名：スポーツ史（石井　昌幸）

スポーツ史における 19 世紀の意義と特徴について述べなさい。

A－5　研究指導名：舞踊論（杉山　千鶴）

舞踊に求められる社会的役割について説明せよ。

A－6　研究指導名：体育科教育学（吉永　武史）

現行の学習指導要領においてボール運動系の内容が３つの型（ゴール型・ネット型・ベースボール型）で示された理由と、それぞれの型の特性について述べよ。

A－7　研究指導名：スポーツ教授学（深見　英一郎）

スポーツ指導における指導者の相互作用技術について述べなさい。

A－8　研究指導名：スポーツ社会学（中澤　篤史）

「身体のあり方は、社会のあり方が決定する」という命題について、社会学の立場から論じなさい。

Ｂ．スポーツビジネス研究領域

Ｂ－１　研究指導名：スポーツ経営学（木村　和彦）

スポーツ経営における４つの経営資源について説明しなさい。

Ｂ－２　研究指導名：健康スポーツ論（中村　好男）

行動変容ステージにおける「無関心期」の人々に運動や身体活動を促進する具体的方法を提案せよ。

Ｂ－３　研究指導名：スポーツビジネスマネジメント論（原田　宗彦）

政府は、2022 年までに週 1 回以上のスポーツ実施率を 65%程度にする目標を立てたが、文科省のデータでは、2012 年から 2015 年にかけて、実施率は 47.5%から 40.7%に下落している。その理由と対策について考察せよ。

Ｂ－４　研究指導名：スポーツクラブビジネス論（間野　義之）

わが国では 2025 年までにスポーツ GDP を 3 倍に成長させるための政策が推進されているが、国内事例を示したうえで、政策課題を記述せよ。

Ｂ－５　研究指導名：トップスポーツビジネス論（平田　竹男）

Ｊリーグの放送が、スカパー！からネット放映である DAZN（ダゾーン）に変更された。契約金額が増加したという「資金」若しくは「市場」という部分はさておき、この変更が「普及」に与える影響について論ぜよ。

Ｂ－６　研究指導名：スポーツ組織論（作野　誠一）

わが国のスポーツ界における組織構造の変更・改変の例を挙げ、その背景や方法等について組織構造論の立場から説明しなさい。

Ｂ－７　研究指導名：スポーツビジネス・アドミニストレーション（武藤　泰明）

1990 年代後半から社会人野球のチームの休廃部が相次いだ。しかしドラフトで NPB の球団に入団する選手の数は必ずしも減っていない。一方で、高卒で NPB の球団にドラフトで入団する選手の数は減少した。
これについて、何がおきたのかを考察してください。

Ｂ－８　研究指導名：スポーツビジネスマーケティング（松岡　宏高）

スポーツ組織（プロスポーツチームやフィットネスクラブなど）のマーケティングにおいて、消費者の心理や行動を理解することの重要性について、スポーツ消費者の特異性を含めて解説せよ。

Ｂ－９　研究指導名：スポーツビジネス法（松本　泰介）

我が国におけるスポーツ紛争解決制度の現状を述べた上で、今後、どのように変わっていくべきか述べよ。但し、最低限以下のキーワードを解答の中において全て使用しなければならないものとする。【日本スポーツ仲裁機構、団体内紛争解決機関、スポーツ紛争の争訟性、適正手続、公平、中立性、自動応諾条項】

Ｃ．スポーツ医科学研究領域

Ｃ－１　研究指導名：運動免疫学（赤間　高雄）

運動による免疫機能の変化を以下の４つに分類し、それぞれ具体的な免疫指標の変化を説明しなさい。

（１）細胞性の免疫指標の一過性運動による変化
（２）液性の免疫指標の一過性運動による変化
（３）細胞性の免疫指標の継続性運動による変化
（４）液性の免疫指標の継続性運動による変化

Ｃ－２　研究指導名：スポーツ健康管理学（坂本　静男）

人間ドックの結果（血圧 150/95、HDL-コレステロール 30mg/dl、体脂肪率 25%、腹囲 90cm）を知らされた後に一念発起して運動を習慣化させたいと考えた 50 歳男性が、運動および食事療法の指導を希望して某病院内科を訪れた。兄弟３名のうち２名が心筋梗塞を発症しており、運動開始に不安を感じていた。この男性はメタボリックシンドロームと診断されうるかどうかを最初に記述し、安全に効果的に運動を開始してもらうために必要な検査を１つ挙げ、その検査に関して概説しなさい。

Ｃ－３　研究指導名：運動器スポーツ医学（鳥居　俊）

疲労骨折やシンスプリントは 16 歳に発生のピークが見られる。その原因について説明しなさい。

Ｃ－４　研究指導名：健康行動科学（岡　浩一朗）

高齢者における認知症予防に果たす身体活動・運動の役割について、知るところを述べよ。

Ｃ－５　研究指導名：スポーツ整形外科学（金岡　恒治）

体幹不安定性によって生じる可能性のある腰部障害について知るところを述べよ。

Ｃ－６　研究指導名：予防医学（鈴木　克彦）

オーバートレーニング症候群とは何か？また、オーバートレーニング症候群を評価する方法と予防対策について知るところを述べよ。

Ｃ－７　研究指導名：アスレティックトレーニング（広瀬　統一）

下の図は室温 40℃/湿度 19%に設定された暑熱環境下での走運動時の食道温、心拍数、運動時間を、事前に身体冷却をした条件（△：深部体温 35.9℃）、身体加熱した条件（■：同 38.2℃）、コントロール条件（○：37.4℃）間で比較したものである。この図をみて暑熱環境下での持久的運動パフォーマンスに及ぼす深部体温変化の影響について説明せよ。また暑熱環境下での持久的パフォーマンス低下を防ぐ方法について、自身の考えを述べよ。

※この図は、著作権の関係により掲載ができません。

(Gonzalez et al., JAP, 1999 から引用)

Ｃ－８　研究指導名：骨格筋生理学　（秋本　崇之）

ヒト骨格筋の収縮機構について述べよ。

Ｃ－９　研究指導名：運動代謝学　（宮下　政司）

脂質異常症を予防するための運動の有用性について、「一過性の運動による脂質代謝への影響」と「運動トレーニングによる脂質代謝への影響」とを分けながら述べよ。

Ｃ－１０　研究指導名：運動器スポーツ機能解剖学（熊井　司）

アスリートにみられる難治性運動器障害の一つとして腱・靭帯付着部症がある。腱・靭帯付着部症の疾患名を一つ挙げ、その発生メカニズムについて機能解剖学的に解説せよ。

Ｃ－１１　研究指導名：健康教育学（石井　香織）

子どもにおいて、身体活動が心身の健康に与える影響について知るところを述べよ。

Ｃ－１２　研究指導名：スポーツ神経精神医科学（西多　昌規）

以下の文章を読み、設問A、Bに解答してください。

M さんはロサンゼルスで行われる競技大会に参加します。東京羽田を 17 時に出発し、ロサンゼルスにはその日の 11 時頃到着します。

A. ロサンゼルス到着後の時差ボケ症状について、どのような症状があるか記載してください。
B. ロサンゼルス行きの時差ボケ対策として、どのような手段があるでしょうか。体内時計の位相変化も交えて、説明してください。

D．身体運動科学研究領域

D－1　研究指導名：スポーツ神経科学（彼末　一之）

①前庭動眼反射について述べよ。
②筋紡錘とは何か、構造、神経支配、機能について述べよ。

D－2　研究指導名：生体ダイナミクス（川上　泰雄）

人間の身体の形態的特徴と骨格筋の機能との関連性について述べなさい。

D－3　研究指導名：スポーツ生理学（村岡　功）

5,000m 全力疾走時のエネルギー供給と呼吸循環系の応答について述べなさい。

D－4　研究指導名：スポーツ心理学（正木　宏明）

野球のバッティングでバットをできるだけ速く振ることの有利性について、速さと正確さとのトレードオフの観点から述べよ。

D－5　研究指導名：スポーツ情報処理（誉田　雅彰）

スポーツ動作を解析する方法として、ビデオ映像による方法と加速度・角速度センサを用いる方法について述べ、各方法の長所と短所を述べよ。

D－6　研究指導名：統合運動神経生理学（宝田　雄大）

以下の２問のいずれかを選択し、その設問に解答しなさい。

A)「火事場の馬鹿力」に代表される潜在筋力があるとすると、その発生原因にはどのようなことが考えられるであろうか。あなたの考えを述べよ。

B)Takarada et al. (2000) は、局所的な血流制限下のレジスタンス（加圧）トレーニングでは、たとえ低強度でも、高強度の場合に匹敵する筋肥大をともなった筋力増加を引き起すことを明らかにした。このメカニズムには、筋収縮のメカニカルストレスによるタンパク同化シグナル経路活性に加え、①追加的な運動単位の動員、②血漿成長ホルモン濃度の増加、③血中インスリン様成長因子（IGF-1）の増加、④筋由来 IGF-1／mechano-growth factor の増加、と myostatin の減少、⑤一酸化窒素を含めた、活性酸素種の影響等の要因が考えられている(Takarada, 2010; 2016)。①（追加的な運動単位の動員）を引き起こすための有効なトレーニング法(加圧トレーニング以外)についてあなたの考えを述べよ。

Takarada, Y., et al., Effects of resistance exercise combined with moderate vascular occlusion on muscular function in humans. *Journal of Applied Physiology*, 88:2097-2106, 2000.

Takarada, Y. The scientific basis and the future possibility for ischemic resistance training. *Clinical Neuroscience*, 28:1216-1217, 2010.

Takarada, Y. Sense of effort" and M1 activity with special reference to resistance exercise with vascular occlusion. *The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine*, 5:123-130, 2016.

D－7　研究指導名：バイオメカニクス（矢内　利政）

1. 陸上競技の 200m 走のスタート直後の加速期におけるコーナリングでは、選手の重心は、進行方向だけではなくコーナー内側方向にも加速する。このときに選手に作用する外力と身体重心の運動との関係について、次のキーワードを用いて説明し、なぜコーナリング中の複合体が内傾しなければならないかについて解説せよ。
キーワード：『運動の法則』『向心加速度』『重力』

2. 身体運動の力学的なメカニズムを捉えるには、身体を単純化されたモデルとして捉え、模倣的なからだの運動を考えることにより、身体運動の基本要素を力学的な『原因－結果関係』に基づいて分析することになる。そこで、競技スポーツにおける繰り返し運動によって発症する慢性的な外傷・障害を１つ選択し、その発症メカニズムを力学的な原因－結果関係として解説せよ。

D－8　研究指導名：スポーツ栄養学（田口　素子）

骨代謝と関連する栄養因子を３つあげ、それらの摂取過不足がスポーツ選手の骨の健康に及ぼす影響について説明しなさい。

E．コーチング科学研究領域

E－1　走運動・コーチング科学（礒　繁雄）

障がい者のスポーツ参加は、「社会への一歩」としてとらえることが多いです。では、健常者のスポーツとの違いをスポーツ参加や継続の視点から述べると共に、その違いを解消するためのトレーニング環境について述べよ。

E－2　トップスポーツコーチング科学（奥野　景介）

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた育成・強化活動において、トップレベルの選手を指導する際の重要な課題についてコーチングの現場の視点から考えを述べなさい。

E－3　スポーツコーチング学（土屋　純）

運動技術の定義とその把握方法について解説し、コーチングの際に運動技術の把握が不可欠である理由を述べよ。

E－4　コーチング心理学（堀野　博幸）

育成年代に望まれるコーチングの留意点について、「デュアルキャリア（dual career）」の観点から、スポーツ現場での具体例を示しながら説明しなさい。

E－5　ボールゲーム戦術戦略論（倉石　平）

ポストゴールデンエイジ（13 歳から 15 歳）におけるトレーニングについて、競技における専門トレーニングをどの程度導入するべきか、またその理由と、その他に行うべきトレーニングについても述べなさい。

E－6　トレーニング科学（岡田　純一）

バックスクワット（Back Squat）動作における各関節の動きや筋群の動員について記述するとともに、脚伸展筋力向上を意図する際の留意点について、膝関節と股関節を対比して説明しなさい。

Ｅ－７　チームスポーツコーチング論（松井　泰二）

チームスポーツのコーチングにおける１年間の計画において、期分けを明らかにしたうえで、質と量ならびに具体的な取り組みについて説明しなさい。その際に、競技名や種目を明示しなさい。

Ｅ－８　武道のコーチング学（射手矢　岬）

武道の上達過程における守破離について説明しなさい。

	万	千	百	十	一	問題番号
受験番号						
氏名						

２０１８年度　修士課程（春期）
入学試験解答用紙
〔専　　門〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

〔　〕内には選択した問題の研究指導名、志望教員名を記入すること。[例：武道論・志々田　文明]
また、必ず志望する研究指導の問題を解答すること。

〔　　〕

採点欄

（　表面より続く　）